

【資料2】

第2回幡多地域アクションプランフォローアップ会議資料

平成 25 年 2 月 6 日

平成 25 年度幡多地域アクションプランの追加、拡充、削除項目等について

平成25年度 幡多地域アクションプラン（案）項目対比表

No.	現在（平成24年度）	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町
		9	9	12	11	4	11
1	水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成	●	●	●	●	●	●
2	有機農業普及・拡大事業			●			
3	三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築					●	
4	「若山椿」ブランド復活プロジェクト						●
5	弘法大師ゆかりの七立栗 特産品化計画						●
6	有望品目への転換を含めた、大方南部地域の産地再生						●
7	森の工場・間伐の推進	●	●	●	●	●	●
8	バイオマスを利用した木材の乾燥施設等の導入			●			
9	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進			●			
10	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業				●		
11	地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進	●					
12	宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進	●					
13	民間企業との連携による水産物の販路拡大	●			●		
14	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業	●					
15	サメ漁業の復活に向けた取組		●				
16	宗田節の販路拡大に向けた取組		●				
17	“川辺の暮らし”を支える豊かな四万十川再生プラン			●			
18	キビナゴ加工商品の生産体制強化				●		
19	大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大				●		
20	直七の生産、加工、販売の促進	●					
21	地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり	●					
22	土佐清水市地域再生計画（大岐地区等の開発計画）		●				
23	地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業		●				
25	地元農産物を使った商品開発事業			●			
26	「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化の推進			●			
27	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト			●			
28	西土佐拠点ビジネス推進事業（売り出せ西土佐プロジェクト）			●			
29	拠点ビジネスの推進（大月町まるごと販売事業）				●		
30	莓を核とした6次産業化				●		
31	月光桜からはじまる「牧野富太郎のみち」づくり				●		
32	黒潮印の商品開発						●
33	カツオ文化のまちづくり事業						●
34	佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進						●
35	水産物加工施設整備事業						●
36	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進	●	●	●	●	●	●
37	竜串観光再発見事業		●				
38	土佐清水まるごと戦略観光展開事業		●				
39	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進			●			
40	竜ヶ浜自然体験・環境教育交流推進事業				●		
41	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進						●

	宿毛市	土佐清水市	四万十市	大月町	三原村	黒潮町	No.	改定案(平成25年度)
	10	9	13	11	4	11		
①追加	●	●	●	●	●	●	1	水稲と露地野菜を基幹とした水田農業の担い手育成
	●						2	洋ランのブランド確立・流通促進事業
			●				3	有機農業普及・拡大事業
					●		4	三原村農業公社を核とした農業支援システムの構築
						●	5	「若山椿」ブランド復活プロジェクト
						●	6	弘法大師ゆかりの七立栗 特産品化計画
						●	7	有望品目への転換を含めた、大方南部地域の産地再生
	●	●	●	●	●	●	8	森の工場・間伐の推進
			●				9	バイオマスを利用した木材の乾燥施設等の導入
			●				10	「四万十の家」と地域産ヒノキの販売の推進
				●			11	町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業
	●						12	地域活性化のための魚加工・販売体制の強化・推進
	●						13	宿毛湾を中心とする地域水産物の流通・加工体制の推進
	●			●			14	民間企業との連携による水産物の販路拡大
	●						15	宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業
		●					16	サメ漁業の復活に向けた取組
		●					17	宗田節の販路拡大に向けた取組
			●				18	“川辺の暮らし”を支える豊かな四万十川再生プラン
				●			19	キビナゴ加工商品の生産体制強化
				●			20	大月町種苗生産施設活用による県内産養殖種苗のシェア拡大
●						21	直七の生産、加工、販売の促進	
●						22	地域の素材を活用した「おいしいもの」づくり	
	●					23	土佐清水市地域再生計画(大岐地区等の開発計画)	
	●					24	地域資源を統括したプログラム構築によるしみずの元気再生事業	
		●				25	地元農産物を使った商品開発事業	
		●				26	「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化の推進	
		●				27	栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト	
②追加		●				28	四万十牛の商品開発・販売	
		●				29	西土佐拠点ビジネス推進事業(売り出せ西土佐プロジェクト)	
			●			30	拠点ビジネスの推進(大月町まるごと販売事業)	
			●			31	莓を核とした6次産業化	
			●			32	月光桜からはじまる「牧野富太郎のみち」づくり	
					●	33	黒潮印の商品開発	
					●	34	カツオ文化のまちづくり事業	
					●	35	佐賀地区の地域資源を活用した拠点ビジネスの推進	
					●	36	水産物加工施設整備事業	
●	●	●	●	●	●	37	幡多広域における滞在型・体験型観光の推進	
	●					38	竜串観光再発見事業	
	●					39	土佐清水まるごと戦略観光展開事業	
		●				40	四万十市の地域資源を活かした通年・滞在型観光の推進	
			●			41	竜ヶ浜自然体験・環境教育交流推進事業	
					●	42	黒潮町の地域資源を活かした体験型観光の推進	

幡多地域アクションプランの追加、削除、拡充等（予定項目）

■追加

NO.	アクションプラン名	事業概要
1	洋ランのブランド確立・流通促進事業 （宿毛市） 【実施主体】 高知県洋ラン維新の会（仮称）	宿毛市内の生産者をはじめ、県内の洋ラン生産者が新たな組織を立ち上げ、各生産者の洋ラン商品を一元的に集荷、パッケージ化し、市場を通じた流通に加えて、直接小売店や消費者に販売することで販路の拡大を図る。
2	四万十牛の商品開発・販売（四万十市） 【事業実施主体】 横山精肉、西土佐中央牧場、西土佐ふるさと市組合	四万十市西土佐の畜産家、農家、加工業者が連携し、四万十川にこだわった加工商品を開発、製造、販売することで、地域内外での売上の拡大を図る。

有望素材シート（25年度）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	宿毛市	素材名	洋ラン（シンビジウム、テーブルシンビジウム等）和蘭など
		関連素材	宿毛市内の生産者中心に県内で生産された洋ラン鉢花

現状・課題	<p><現状> 高知県の洋ランの生産量・生産面積は全国トップクラスである。 また、宿毛市内の生産者をはじめ県内の生産者によって多種多様な品目の洋ランが生産されており、生産された洋ランは全国的な品評会で上位入賞するなど、その生産技術は高く評価されている。商品の出荷については各々の生産者が出荷し時期も異なっている。 この洋ランの市場動向は胡蝶蘭のような高級贈答品の需要は年々減少傾向にある。 一方、小さくてより扱いやすい「テーブルシンビジウム」や「和蘭」などの商品が注目されている。</p> <p><課題> 1. 洋ラン＝お歳暮(ギフト)だけでなく広く市場を広げる。 2. 出荷の統合、一元化。 3. 多品目種の取扱いによる通年集出荷体制づくり。</p>
今後の方向性	<p>1. 出荷の統合、一元化を目指した集出荷施設の整備 2. 県内生産者のグループ化による多品目、通年出荷体制の確立 3. 商談会等への参加による販路拡大</p>

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	洋ランのブランド確立・流通促進事業
	関係市町村名	宿毛市

事業の概要	<p>宿毛市内の生産者をはじめ、県内6名の洋ラン生産者が新たな組織を立ち上げ、各生産者が生産した洋ラン商品を一元的に集荷、パッケージ化し、市場を通じたこれまでの流通に加えて、直接小売店や消費者に販売する。</p> <p>1. 集出荷体制の構築 ・集出荷施設の整備</p> <p>2. 販路開拓・販売促進 ・パンフレット等作成 ・HPの制作 ・商談会等への参加</p>
-------	---

事業主体等	<p>【事業主体】 ・高知県洋ラン維新の会(仮称)</p> <p>【関係機関】 ・高知県洋蘭生産組合、宿毛市役所、高知県幡多農業振興センター、その他</p>
-------	--

取組手順	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28】	4年後【H29以降】
集出荷体制の充実強化	事業計画の作成 施設・設備等の整備				
販路開拓と販売促進	HP・パンフレット作成 商談会などへの参加	商談会などへの参加	商談会などへの参加	商談会などへの参加	商談会などへの参加

項目	事業実施【H25】	1年後【H26】	2年後【H27】	3年後【H28】	4年後【H29以降】
売上高	108,600千円	112,000千円	128,300千円	145,000千円	154,000千円
【設定根拠】	【推計の考え方】 ・一年を通して出荷できる体制づくりと売れる展開づくり。 ・商談会への参加、DMの活用、通販等それぞれのターゲットごとの営業戦略、良品の種苗を購入。				
仕分	【考え方】				

総事業費等	<p>総事業費 30,000千円（うち25年度 30,000千円） （内訳 国： 県：15,000千円 市町村： その他：15,000千円）</p> <p>想定する支援事業（補助金名称、人的支援の内容、その他） 国： 県：高知県産業振興推進総合支援事業 人的支援： その他：</p>
-------	---

備考	
----	--

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
	集出荷体制の構築 施設・設備等の整備				売上高 (H23: 108,600千円)	128,300千円	
	販路開拓と販売促進 パンフレット・HP作成						
	各種展示会・商談会等への参加						

有望素材シート（25年度追加分）（案）

『地域アクションプラン』検討過程での有望素材の洗い出し

市町村名	四万十市	素材名	四万十牛・四万十川流域産の農産物
		関連素材	

現状・課題	<p><現状> 四万十市西土佐地域では、地元で肥育した黒毛和牛を商標登録「四万十牛」として販売しているが、現在の販売は地域内消費がメインとなり、価格面では高値設定が困難な状況である。一方、系統出荷の場合「土佐和牛」という名称での流通となるため、地域ブランド力を活かしきれていない現状である。 また、地域農業者が組織する直販組合も同様に、四万十川ブランドを活かした販売には至っていない。</p> <p><課題> 四万十のブランド力を生かした商品の開発、販売</p>
今後の方向性	現状を打破するために、地域内の畜産家・農家・加工業者が連携し、四万十川にこだわった加工商品を開発・製造・販売する。平成26年度末に施設整備が予定される西土佐地区の道の駅において、四万十川を代表する加工品兼お土産品として販売するとともに、県内だけでなく、東京等の都市圏での販売にも取り組む。

「有望素材」を活かした具体的な取り組み（案）

『地域アクションプラン』における具体的な取り組み案

項目	取り組み名	四万十牛の商品開発・販売
	関係市町村名	四万十市

事業の概要	地域内の畜産家・農家・加工業者が連携し、四万十川にこだわった加工商品を開発・製造・販売することで、地域外での売上を拡大する。 あわせて、H27オープン予定の地域拠点施設のメイン商品として地域内での売上増に取り組む。					
事業主体等	<p>【事業主体】 横山精肉</p> <p>【関係機関】 西土佐中央牧場・西土佐ふるさと市組合・四万十市・西土佐商工会</p>					
主な内容・スケジュール	取組手順	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】
	商品開発	試作 パッケージデザイン 市場調査 PR	→	→	商品バリエーション増	→
	商品製造			加工施設の高度化		
	商品販売				販売開始	→ 拠点施設での販売開始
指標・目標	項目 (期末：12月末)	事業実施【H24】	1年後【H25】	2年後【H26】	3年後【H27】	4年後【H28以降】
	売上高(千円)	0	0	0	6,000	18,000
	【設定根拠】	【推計の考え方】 当計画により開発された商品の売上目標のみ計上				
		【考え方】				

総事業費等	総事業費	20,000千円	(うち24年度	千円)	
	(内訳 国:	県: 10,000	市町村:	その他: 10,000)
備考	想定する支援事業(補助金名称、人的支援の内容、その他)	国:			
		県: 産業振興総合補助金	人的支援:		
	その他: デザインや販促活動にあたっての専門的なアドバイス				

追加項目(案)

【幡多地域】

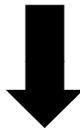
項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
28 四万十牛の商品開発・販売 《四万十市》	四万十市西土佐地域の畜産家・農家・加工業者が連携し、四万十川にこだわった加工商品を開発・製造・販売することで、地域内外での売上を拡大する。	・横山精肉 ・西土佐中央牧場 ・西土佐ふるさと市組合			◆商品開発・製造・販売 ◆原材料供給体制の強化

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
商品開発・製造・販売					→	新商品売上高	6,000千円
商品開発・市場調査							
		加工体制高度化	販売促進				
原材料供給体制の強化					→		
畜舎改修	四万十牛の安定供給体制づくり						
地元産野菜の安定供給体制の強化							

修正項目(案)

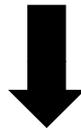
【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
8 バイオマスを利用した木材の乾燥施設等の導入 《四万十市》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	木材の乾燥及び加工施設の導入による木製品の品質向上を図るとともに、樹皮や端材などの木屑を熱源としたバイオマス利用システムの構築を目指す。	・協同組合	・参画予定事業者との検討会(H21~23) ◆4民間事業者と会を重ねる中で、最大の課題である乾燥機械導入費用について、「事業協同組合では国庫補助対象外。森林組合の場合は固定資産保有比率の整理が前提となり厳しい。」ことを確認した。 今後は、資金調達上必須である、費用対効果をふまえた計画づくりと、支援制度の活用検討が必要。	・施設導入費用の確保 ・経営計画、資金調達計画の見直し	◆施設整備 (木材乾燥施設、木材加工施設、バイオマス利用施設)



項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
9 バイオマスを利用した木材の乾燥施設等の導入 《四万十市》 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	木材の乾燥及び加工施設の導入による木製品の品質向上を図るとともに、樹皮や端材などの木屑を熱源としたバイオマス利用システムの構築を目指す。	・協同組合	・参画予定事業者との検討会(H21~23) ◆4民間事業者と会を重ねる中で、最大の課題である乾燥機械導入費用について、「事業協同組合では国庫補助対象外。森林組合の場合は固定資産保有比率の整理が前提となり厳しい。」ことを確認した。 今後は、資金調達上必須である、費用対効果をふまえた計画づくりと、支援制度の活用検討が必要。	・施設導入費用の確保 ・経営計画、資金調達計画の見直し	◆施設整備 (木材乾燥施設、木材加工施設、バイオマス利用施設)

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					乾燥材生産量	900m ³
施設整備(木材乾燥施設、木材加工施設、バイオマス利用施設) <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">施設整備検討</div>				地域産材の販売促進		



第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					乾燥材生産量	900m ³
施設整備(木材乾燥施設、木材加工施設、バイオマス利用施設) <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;">施設整備検討・整備</div>				地域産材の販売促進		

修正項目(案)

【幡多地域】

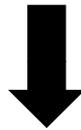
項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
35 水産物加工施設整備事業 ≪黒潮町≫ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	これまで以上の衛生管理・品質管理が可能で、生産拡大が図れる水産物加工施設を整備することにより、さらなる販売拡大を目指す。それにより、地域内の漁業者の所得拡大を図る。あわせて、生産従事者の技術力向上、営業面での充実を行い、地域での雇用を拡大する。	・(有)土佐佐賀産直出荷組合			◆販路開拓・販売促進 ◆加工体制の整備 ◆生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり

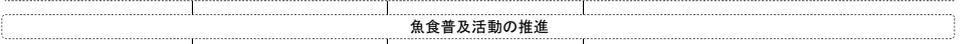


【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
36 水産物加工施設整備事業 ≪黒潮町≫ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto; background-color: black; color: white;">修正後</div>	これまで以上の衛生管理・品質管理が可能で、生産拡大が図れる水産物加工施設を整備することにより、さらなる販売拡大を目指す。それにより、地域内の漁業者の所得拡大を図る。あわせて、生産従事者の技術力向上、営業面での充実を行い、地域での雇用を拡大する。	・(有)土佐佐賀産直出荷組合			◆販路開拓・販売促進 ◆加工体制の整備 ◆生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり

第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					新規雇用	5名
販路開拓・販売促進		ウェブの活用・強化				
		既存販路の拡大				
		新規販路の開拓			新規雇用	5名
加工体制の整備						
基本計画	施設整備					
		雇用の継続・新規雇用の創出			新規雇用	5名
生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり						
		原材料確保の安定化・買い支え				
		生産・加工技術の向上			新規雇用	5名
		魚食普及活動の推進				



第2期計画				H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27		指標	目標値(H27)
					新規雇用	5名
販路開拓・販売促進		ウェブの活用・強化				
		既存販路の拡大				
		新規販路の開拓			新規雇用	5名
加工体制の整備						
	基本計画	施設整備				
		雇用の継続・新規雇用の創出			新規雇用	5名
生産の担い手対策及び産地化に向けた体制づくり						
		原材料確保の安定化・買い支え				
		生産・加工技術の向上			新規雇用	5名
		魚食普及活動の推進				

修正項目(案)

【幡多地域】

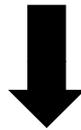
項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
36 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 ≪幡多地域全域≫ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	幡多地域におけるコーディネート組織として、質の高い体験プログラムづくりや人材育成、民泊など受入体制の充実強化、それらを活用した周遊ルートなど、商品造成、販売誘致促進を図り、幡多地域での滞在型・体験型観光の推進を目指す。	・(社)幡多広域観光協議会	・法人化及び増員(H22) ・第2種旅行業取得(H22) ◆組織体制が強化されたことで、従来の教育旅行に加え、一般客もターゲットにした新たな需要、商品の掘り起こし等、地域のコーディネート組織(ワンストップ窓口)としてのさらなる活躍が期待される。そのため新たな営業戦略、人材育成、積極的な誘客活動等、観光地域づくりのコアとなる事業展開が望まれる。	・教育旅行受け入れ増の取組 ・一般旅行商品造成	◆人材育成(インストラクター養成、スキル向上、民泊受入世帯増) ◆「食」や「地域フィールド」等を活かした旅行プラン造成・販売 ◆誘致・プロモーション活動



【幡多地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
37 幡多広域における滞在型・体験型観光の推進 ≪幡多地域全域≫ <div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	幡多地域におけるコーディネート組織として、質の高い体験プログラムづくりや人材育成、民泊など受入体制の充実強化、それらを活用した周遊ルートなど、商品造成、販売誘致促進を図り、幡多地域での滞在型・体験型観光の推進を目指す。	・(社)幡多広域観光協議会	・法人化及び増員(H22) ・第2種旅行業取得(H22) ◆組織体制が強化されたことで、従来の教育旅行に加え、一般客もターゲットにした新たな需要、商品の掘り起こし等、地域のコーディネート組織(ワンストップ窓口)としてのさらなる活躍が期待される。そのため新たな営業戦略、人材育成、積極的な誘客活動等、観光地域づくりのコアとなる事業展開が望まれる。	・教育旅行受け入れ増の取組 ・一般旅行商品造成	◆人材育成(インストラクター養成、スキル向上、民泊受入世帯増) ◆「食」や「地域フィールド」等を活かした旅行プラン造成・販売 ◆誘致・プロモーション活動 ◆ <u>地域博覧会の開催</u>

第2期計画					H28以降	指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)		
人材育成(インストラクター養成、スキル向上、民泊受入世帯増) <ul style="list-style-type: none"> ・インストラクター研修会の開催、先進地視察 ・市町村との連携のもと民泊研修会を開催、受入世帯150軒確保による教育旅行誘致 					・安定的な受入体制の整備 ・地域の振興	教育旅行受入数 (H22:3,074人) 一般旅行受入数 (H22:59人)	4,000人 30,000人	
「食」や「地域フィールド」等を活かした旅行プラン造成・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者と連携し「食」や「地域フィールド」等を活かした周遊プランの造成・販売 ・マーケット、ニーズの把握によるブラッシュアップ 								・関係者と連携した旅行商品開発、販売の仕組みができるようになる。 ・商品の安定化
誘致・プロモーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行:民泊造成と連動した誘致。中国・九州エリアへの活動展開 ・一般旅行:エージェントが企画、利用しやすいツールの作成及び事業者と連携したセールス活動 								マーケット分析による先を見越した効果的な活動を展開



第2期計画					H28以降	指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)		
人材育成(インストラクター養成、スキル向上、民泊受入世帯増) <ul style="list-style-type: none"> ・インストラクター研修会の開催、先進地視察 ・市町村との連携のもと民泊研修会を開催、受入世帯150軒確保による教育旅行誘致 					・安定的な受入体制の整備 ・地域の振興	教育旅行受入数 (H22:3,074人) 一般旅行受入数 (H22:59人)	4,000人 30,000人	
「食」や「地域フィールド」等を活かした旅行プラン造成・販売 <ul style="list-style-type: none"> ・事業者と連携し「食」や「地域フィールド」等を活かした周遊プランの造成・販売 ・マーケット、ニーズの把握によるブラッシュアップ 								・関係者と連携した旅行商品開発、販売の仕組みができるようになる。 ・商品の安定化
誘致・プロモーション活動 <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行:民泊造成と連動した誘致。中国・九州エリアへの活動展開 ・一般旅行:エージェントが企画、利用しやすいツールの作成及び事業者と連携したセールス活動 								マーケット分析による先を見越した効果的な活動を展開
地域博覧会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域博覧会の準備・開催 								